

Symposium

シンポジウム

会場:芸術情報館1階 メインホール

9:00- 受付開始 | 場所:芸術情報館1階 エントランスホール

9:30-9:40 学長挨拶 | 学長 義江 龍一郎

9:40-10:40 基調講演1

技術と芸術の狭間で

原島 博

東京大学名誉教授、明治大学客員教授(総合数理学部)、立命館大学客員教授(衣笠総合研究機構、文学研究科)、女子美術大学客員教授(芸術学部)

10:40-10:50 休憩

10:50-11:10 オーラルセッション1

「色の国際科学芸術研究センター」のブランディング活動

野口 靖

色の国際科学芸術研究センター長、芸術学部インタラクティブメディア学科教授

11:10-11:30 オーラルセッション2

伝統的手法で抽出されたカルサミンの緑色金属光沢の呈色機構の科学的解明

矢島 仁 他

芸術学部映像学科准教授 他

11:30-13:10 ポスターセッションおよび昼食

ポスターセッション13件

13:10-14:10 基調講演2

カラーハンティング／色と生活の間にあるデザイン

藤原 大

藤原大デザイン事務所代表、良品計画MUJI to GOディレクター、多摩美術大学教授、金沢美術工芸大学名誉客員教授、東京大学生産技術研究所研究員

14:10-14:30 オーラルセッション3

色をテーマにしたマンガ制作

〈車の塗装の秘密〉

細萱 敦 他

芸術学部マンガ学科教授

14:30-14:50 オーラルセッション4

色の表現を創生するディープラーニングを使用した

インタラクティブアートに関する基礎研究

〈人工知能が芸術的な色の表現で

人間に勝つ日は来るのか〉

久原 泰雄

芸術学部インタラクティブメディア学科教授

14:50-15:00 閉会挨拶

内田 孝幸

色の国際科学芸術研究センター・副センター長
工学部メディア画像学科教授

Poster Session

ポスターセッション | 東京工芸大学教員成果発表

会場:1号館1階インフォメーションスペース、
2号館1階メディアラウンジ
11:30~13:10(100分) 昼食の時間にご覧いただけます。

1 他のいきものが知覚している世界

今給 繁 隆

2 日本語における色彩語の考察:認知言語学の視点から

松中 義大

3 人間の集中力低下状態を予測する
脳視覚メカニズムの究明と色情報を用いた
意識集中力を向上させる研究

辛 徳 他

4 混色教育のためのカラーミキサの開発と
アウトリーチ活動〈色を作る楽しさを知る工作キット〉

久米 祐一郎 他

5 色計測・解析に基づく医療診断の基礎研究と応用
〈ライティングドームと舌撮影装置の検討〉

内田 孝幸 他

6 医療用3色レーザを用いた
透過型高精度位相計測干渉顕微鏡の開発

陳 軍 他

7 医療環境における照明色による介入効果の数値化

森山 剛 他

8 「色を残す」植田正治カラー作品の保存と
デジタルアーカイブ作成

田中 仁 他

9 近代ヨーロッパの色彩版画技法に関する研究:
イギリスにおけるカラー木口木版の誕生とその展開

大森 弦史

10 写真プリントの高質感再現システムの研究

東 吉彦 他

11 主要構造部材への適用を目指した
カラーコンクリートに関する研究

陣内 浩

12 メタマテリアルを用いた
エレクトロクロミック表示の高速化

山田 勝実 他

13 生体高分子のゲル化がもたらす構造色と
フォトメカニカル効果への応用
〈色の力で動き出すバイオプラスチック〉

比江島 俊浩 他

2018年3月10日[土]

9:30-15:00 予約不要・入場無料

会場:東京工芸大学中野キャンパス[東京都中野区本町2-9-5]

芸術情報館1階メインホール、

1号館1階インフォメーションスペース、

2号館1階メディアラウンジ

主催:東京工芸大学

後援:画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会、

日本色彩学会、日本写真学会、日本写真芸術学会

(50音順)



交通:

地下鉄/東京メトロ

丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線

中野坂上駅下車 徒歩約7分

1番出口より

山手通りを初台・大橋方向に進み、

成願寺を右折

お問い合わせ:東京工芸大学 教育研究支援課

Tel:046-242-9964 Fax:046-242-9510

E-mail:er-support@office.t-kougei.ac.jp

公式サイト:<http://www.color.t-kougei.ac.jp/events/index.html>



平成28年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」について

「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等に対し、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援するもので、全国の私立大学から198件の申請があり、本学を含む40校が選定されました。本学では工学部・芸術学部、工学研究科・芸術学研究科に共通する全学的な研究テーマとして、「色」を取り上げ、国内の大学では唯一となる「色の国際科学芸術研究拠点」を形成し、「色」といえば東京工芸大学と言われるようなブランドを築くとともに、「真の工・芸融合」を目指します。